

法人（事業所）理念		子どもの興味や関心をもとに様々な活動に取り組み、子どもの『個性』や『できること』を大切にし安心・安全に過ごすことができる居場所を作る。		
支援方針		一人ひとりが抱えている課題や特性に配慮し、しっかり寄り添った支援を行う。 運動や遊びを通じて他者との関わりを持って過ごす中で、コミュニケーション能力や社会性を身につけることができるよう支援する。 新しい事にチャレンジし、何事にも意欲的に取り組めるよう声掛け行う。		
営業時間		【登校日】10:00～19:00 【学休日】9:00～18:00	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・来所持の検温や口頭での質問による健康状態の確認。 ・基本的な生活リズムを身につけ、身だしなみ・身支度・物の管理等（整理・整頓）ができるよう支援する。 ・意思表示が困難な児童の発達過程に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう支援する。		
	運動・感覚	・フープ・マット・サーキット・ボール・リトミックなど取り入れ姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上。 ・様々な遊びや課題を通じて色々な道具を使い、手先の使い方（微細運動）を伝える。 ・正しい姿勢の保ち方を身につけ、運動機能・体幹筋力の向上を図る。 ・運動療育やビジョントレーニングにより視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する。		
	認知・行動	・空間・時間・数・お金などの概念形成の取得。 ・自身でスケジュールの自己選択・自己決定を行い、見通しを持って自主的に行動できるように促す。 ・認知の偏り等、個人の特性に配慮しながら、情報処理が適切にできるよう支援する。		
	言語 コミュニケーション	・挨拶や場面にあった適切な言葉使いができるよう支援する。 ・自分の思いや要求を相手に伝える方法など、状況に応じた適切な伝達ができるよう助言する。 ・終わりの会などで最近の出来事を発表する場を設け、SWIHを上手に使うことができるよう支援する。		
	人間関係 社会性	・集団活動への参加や余暇の遊びの中で、役割やルールなどに応じて友達とやり取りし、適切な人間関係を築けるよう支援する。 ・他者の気持ちや思いを理解し、適切な行動をとるという自立に必要な社会スキルの習得促す。 ・感情のコントロールなど社会生活に適応するために必要なスキルの習得を促す。 ・公共機関の利用などを通して社会的なマナーを身につけられるように支援する。 ・金銭の管理や買い物を経験し、外出時のマナー等を学ぶ。		
家族支援		・子供に関する情報共有と相談援助。 ・関係者、関係機関との連携による支援体制の構築。 ・家族支援（個別面談）の実施。	移行支援	・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助。 ・具体的な移行先との調整・相談援助・連携を図る。
地域支援・地域連携		・子どもが通う学校等との情報連携や調整。 ・支援方法や環境調整等に関する連携。 ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所やその他関係機関との連携。	職員の質の向上	・法人全体、自事業所による社内研修。 ・各種委員会会議の参加。
主な行事等		・季節の行事（お花見・プール、川遊び・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会等） ・季節の製作 ・お誕生会 ・工場見学 ・クッキング ・避難訓練 ・屋外活動（お買い物・公共施設・公園）		